

ExtendedTrainSchedulerWithOudia

構文解説

direction について

上り線の列車は InBound の文字列 , 下り線の列車は OutBound の文字列 とします.

主関数

各ステートメントにつき 1 つのみ記述できます. 各ステートメントの最後にのみセミコロン ; を記述してください.

Stop(station, car)

```
BveEx.User.Toukaitetudou.ExtendedTrainSchedulerWithOudia.Track[string direction].Stop(sring station,int car);
```

進行方向 direction の向きで両数 car 以下の列車の駅 station における停車位置をその距離程に設定します.

同一駅・同一列車に対し有効な設定が複数存在する場合, car の値が最も小さいもの 距離程の値が最も小さいものの順で優先されます.

オプション関数 Series, IgnoreSeries を利用できます.

ToHere(v, a)

```
BveEx.User.Toukaitetudou.ExtendedTrainSchedulerWithOudia.Track[string direction].Accelerate.ToHere(double v,double a);
```

進行方向 direction の向きの列車の加減速を 加速度 a [km/h/s], 目標速度 v [km/h] で, その距離程 ” ま で” で完了するように行います.

オプション関数 Series, IgnoreSeries, Stop, IgnoreStop, Pass, IgnorePass を利用できます.

FromHere(v, a)

```
BveEx.User.Toukaitetudou.ExtendedTrainSchedulerWithOudia.Track[string direction].Accelerate.FromHere(double v,double a);
```

進行方向 direction の向きの列車の加減速を 加速度 a [km/h/s], 目標速度 v [km/h] で, その距離程 ” から” 開始します.

オプション関数 Series, IgnoreSeries, Stop, IgnoreStop, Pass, IgnorePass を利用できます.

オプション関数

主関数に続けて記述することで対象列車の絞り込みをします. 1 つの主関数に対し複数のオプション関数を指定できます. 主関数によって利用できるオプション関数は異なります. 本項において は絞り込みするステートメントを表すものとしします.

Series(series)

```
-.Series(string series,...);
```

対象列車を車種が series... であるものに絞り込みます. series は複数回記述できます.

IgnoreSeries(ignoreseries)

```
-.IgnoreSeries(string ignoreseries,...);
```

対象列車を車種が ignoreseries... でないものに絞り込みます. ignoreseries は複数回記述できます.

Stop(stops)

```
-.Stop(string stops,...);
```

対象列車を stops... に停車するものに絞り込みます. stops は複数回記述できます.

IgnoreStop(ignorestops)

```
-.IgnoreStop(string ignorestops,...);
```

対象列車を ignorestops... に停車しないものに絞り込みます. ignorestops は複数回記述できます.

Pass(passes)

```
-.Pass(string passes,...);
```

対象列車を passes... を通過するものに絞り込みます. passes は複数回記述できます.

IgnorePass(ignorepasses)

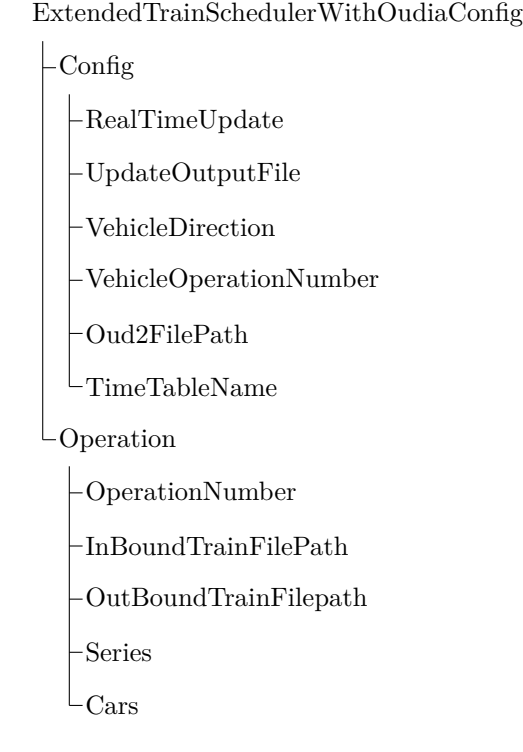
```
-.IgnorePass(string ignorepasses,...);
```

対象列車を ignorepasses... を通過しないものに絞り込みます. ignorepasses は複数回記述できます.

設定ファイル解説

ExtendedTrainSchedulerWithOudia.dll と同階層の ExtendedTrainSchedulerWithOudia.Config.xml に記述します

要素・属性



ExtendedTrainSchedulerWithOudiaConfig

XSD 定義

```
<xs:element name="ExtendedTrainSchedulerWithOudiaConfig">
  <xs:complexType>
    <xs:sequence>
      <xs:element name="Config" type="Config"/>
      <xs:element name="Operation" type="Operation" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
    </xs:sequence>
  </xs:complexType>
  <xs:unique name="OperationNumber" id="OperationNumber">
    <xs:selector xpath="Content"/>
    <xs:field xpath="Config/@VehicleOperationNumber" />
    <xs:field xpath="Operation/@OperationNumber" />
  </xs:unique>
</xs:element>
```

(要素) ルート要素です. 1 個の Config 要素と 0 個以上の Operation 要素を持ちます.

Config

XSD 定義

```
<xs:complexType name="Config">
  <xs:attribute name="RealTimeUpdate" type="xs:boolean" default="true"/>
  <xs:attribute name="UpdateOutputFile" type="xs:boolean" default="true"/>
  <xs:attribute name="VehicleDirection" type="Bound" use="required"/>
  <xs:attribute name="VehicleOperationNumber" type="xs:NMTOKEN" use="required"/>
  <xs:attribute name="Oud2FilePath" type="xs:anyURI" use="required"/>
  <xs:attribute name="TimeTableName" type="xs:NMTOKEN" use="required"/>
</xs:complexType>
```

(要素) 自列車やダイヤ全体に係ることの設定をします. 0 個の子要素を持ちます.

RealTimeUpdate

(属性) true の場合プラグインが生成した構文を読み込みます. 省略可能です. 省略した場合, 値は true であるものとして扱われます.

UpdateOutputFile

(属性) true の場合生成した構文をファイルに書き出します. 省略可能です. 省略した場合, 値は true であるものとして扱われます.

VehicleDirection

(属性) 自列車の direction を記述します. 省略できません.

VehicleOperationNumber

(属性) 自列車の運用番号を記述します. 省略できません.

Oud2FilePath

(属性) ダイヤを読み込む Oudia のファイルへのパスを記述します. 省略できません.

TimeTableName

(属性) 読み込むダイヤの名前を記述します. 省略できません.

Operation

XSD 定義

```
<xs:complexType name="Operation">
  <xs:attribute name="OperationNumber" type="xs:NMTOKEN" use="required"/>
  <xs:attribute name="InBoundTrainFilePath" type="xs:anyURI" use="required"/>
  <xs:attribute name="OutBoundTrainFilePath" type="xs:anyURI" use="optional"/>
  <xs:attribute name="Series" type="xs:NMTOKEN" use="optional"/>
  <xs:attribute name="Cars" type="xs:positiveInteger" use="required"/>
</xs:complexType>
```

(要素) 運用番号と車両情報の紐づけをします. 0 個の子要素を持ちます.

OperationNumber

(属性) 紐づける運用番号を指定します. 値は Config 要素の VehicleOperationNumber 属性の値, 他の Operation 要素の OperationNumber の値と重複できず, 省略できません.

InBoundTrainFilePath

(属性) 上り列車として運転するときの他列車ファイルを指定します. 省略できません.

OutBoundTrainFilePath

(属性) 下り列車として運転するときの他列車ファイルを指定します. 省略可能です. 省略した場合, 値は InBoundTrainFilePath 属性の値であるものとして扱います.

Series

(属性) 車種を指定します. 省略可能です.

Cars

(属性) 両数を指定します. 省略できません.